

科目区分	専門教育科目	科目名	生化学Ⅱ		科目コード	18S400	担当者	吉井 学			
対象学生	栄養士コース 2年生		学期区分	前期	単位数	2	担当形態	単独			
科目			施行規則に定める科目区分又は事項等			卒業要件		選択			
						免許・資格要件		栄養士必修			
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
生体内での代謝を理解し、遺伝子と蛋白質の合成の関係や代謝の調節に欠かせないビタミン及びホルモンについて学習する。						1. 「 尽心 」 誠実な人柄と人間力		2. 「 創造 」 高度な知性と創造力		3. 「 実践 」 明確な意思と実践力	
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 思考・判断力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	代謝の全体像を理解する。										
2.	遺伝子の役割と蛋白質の合成について理解する。										
3.	代謝に関与する物質の関係性を理解する。										
4.	ビタミン、ホルモンの機能について理解する。							○	○		
5.	食餌と代謝の重要な関わりと疾患の成立について理解する。					成績評価の方法と割合					
授業方法						定期試験（100%）					
教科書による解説・講義をすると共に、板書・図示にて代謝等を説明する。											
準備学修						課題等への対応					
講義内容の予習をして、講義を受講すること。（予習時間：約1時間）、予習した内容で不明瞭な部分を質問すること。						学務システムにおいて、成績は発表する。					
授業計画											
第1回	糖の代謝（解糖、グリコーゲン、糖新生）と生体リズム										
第2回	糖質の代謝（ベータ酸化、ケトン体、ステロイド化合物）と生体リズム①										
第3回	糖質の代謝（ベータ酸化、ケトン体、ステロイド化合物）と生体リズム②										
第4回	アミノ酸の代謝（同化、ホルモン、尿素回路）と生体リズム①										
第5回	アミノ酸の代謝（同化、ホルモン、尿素回路）と生体リズム②										
第6回	生体代謝と酵素の関係										
第7回	代謝におけるビタミンの関係①										
第8回	代謝におけるビタミンの関係②										
第9回	遺伝子について										
第10回	遺伝子と細胞・生体の関係										
第11回	遺伝子の複製										
第12回	ホルモンの役割										
第13回	ミネラルと生体の関係										
第14回	代謝と疾患①										
第15回	代謝と疾患②										
試験	定期試験を実施する										
教科書	「基礎から学ぶ生化学」 奥恒行、山田和彦編集 南江堂				受講生へのメッセージ	知らないことはまず自分で調べる。その後、口頭での質問及びメール等による質問をしてください。					
参考書等	なし										